

台風15号を直接受けた千葉の大停電を含んだ被害は大きいもので驚きでしたが、私たちの横浜でもかなりの被害がありました。とりわけ金沢工業団地は高潮を受けて堤防が壊れ工場が水浸しになるなど、想像もつかない状況に遭ったのです。その対応もできないでいる中、風雨ともに観測史上最大と言う17号が来るというので再び驚いたのですが、横浜では大木、電柱などの被害はあまりなく、意外なことに長野の千曲川や福島、仙台など台風の道のセンターではないところで川が氾濫し多くの方が犠牲になり大きな被害を出しました。さらに19号、豪雨の21号と追い打ちをかけて観光地の箱根などは大きなダメージです。私も30年以上前、横浜駅西口に車をおいていたとき水面が膝上まで出たことがありました。マフラに水が逆流するとエンジンが止まるからと脅かされ、それでもいいや行ってみようと思いましたが、なんと高台に着き難を逃れました。今では地道は渋滞で心細かったのですが、なんとか高台に着き難を逃れました。今では地道を作りオーバーした水は別ルートに流れることになっているのです。

鶴見川も日産スタジアムの1階が遊水池兼駐車場として作ってあるし、お隣のラポールトリハビリセンターの膨大な広さの駐車場も2つの用途を兼ねていると聞いています。アメリカでは500年に一度氾濫する川の堤防を次の500年に向けて堤防工事していると聞いたことがありますが水は恐ろしいです。

10月は比較的秋晴れの日が多いのですが、中区の「ハローよこはま」も順延の上、中止になってしまいました。折角楽しみにして、一生懸命練習した赤い靴ジュニアコーラスとこどもミュージカルの団員たちはさぞかしがっかりしたでしょうね。しかし、まだこれからもありますので次に頑張ろうね。その間にけい古を重ねていたオペラ「カルメン」の出演者たちは学校が終るとすぐにけい古場の東京新宿「花伝舎」(廃校の小学校を改造してけい古場にした)そこでハードなレッスンを受けて8時・9時に終って横浜に帰るのです。開催日近くになると劇場の証明書を提出して早退の許可を校長先生から頂いてけい古を続けました。「もっと声を出して」先生の指導はかなり厳しく、皆頑張りました。でも弱音を吐かないでついてきました。前にジュニアコーラスの先輩が「カルメン」に出演しました。それは正統派のストーリーに沿うものでした。

今回、演出家の田尾下先生はカルメンの素晴らしい音楽を軸として舞台を21世紀のブロードウェイに移したのです。古い物語を現代に置き換える、それで別のストーリーが華麗な音楽の中で展開される。私個人は好きですが、これを是としない方もおられました。古典は古典と反対の方もおられました、当然です。しかし、大勢の方に児童合唱の歌声と演技を絶賛されました。少ない時間である大舞台。よくやったと思います。打ち上げで共演者を回ってサインを求めると団員にソリスト、プロの合唱団の方々は「上手だったね」と褒め言葉を忘れません。一つの舞台を皆で作った者達の感動です。舞台には出ないけれど先生方のご努



港・ヨコハマの1980年代 シンボルができるまで  
赤い靴の像も40年 この時代にできました。  
資料も飾ってあります。 11/8~1/13 10時~17時  
一般200円、高以下65歳以上100円 横浜みなと博物館(日本丸)

力は大きな力です。そして団員も平野さんも私も心から感謝しなければならぬのはお父さんお母さんです。本当にありがとうございます。話は違いますが、私が小学校5年の時、5年以上のクラスで「演劇のクラス対抗がありました」実は当時学芸会のネタがあまりなくて「ネズミの嫁入り」とか「猿蟹合戦」とか決まっていたのです。私は自分で作って書いたのを三つ持っていました。友達がそれを知っていて先生に言ったので「松永、読ませてくれ」というので「恥ずかしいからいやです」と断ったのですが、「先生も何をやるかわからないから参考にさせてくれ」というので渡したのですが、「これがいい、やらせてくれ」と選んだのが「神代の子供たち」というのです。結局、私が脚本。演出、ピアノを習っている子が音楽、器用な子が衣裳と決まったのです。すると先生が赤組の先生に見せたら「昭和の桃太郎をやらせてくれと言うんだいいだろう」と言うので断れないのでうなずいたのです。桃太郎は14世紀から伝わる古い話ですが、鬼がいい人で桃太郎が悪い人に取り替えたのです。ある日、川で溺れて桃に掴まって流れていた可愛い鬼のこどもを助けて家に連れて帰ったのです。可愛い子供をとられたと勘違いした鬼の夫婦は犬と雉と猿を連れて探しに行くのです。余り可愛いので桃太郎も手放しません。一悶着あって、鬼の夫婦も桃太郎が助けてくれたことを知り謝って双方仲良くなった物語です。田尾下先生の手法をみて発想だけが変わらないと急に思ったのです。結果は「神代」が優秀賞で「桃太郎」が2位でした。嬉しかったのを思い出しました。

27日(日)今年是天候に恵まれ多くのお客様をお迎えして「東京湾大感謝祭」で「ワタシノユメ」を赤煉瓦倉庫前の特設ステージで公演しました。何回見てもどこで見ても出演者の歌、ダンス演技に感動します。赤い靴の40年を祝うと同時に、当時の様子がそのままこどもに受け継がれて嬉しく思っています。演出、音楽、振付け、衣裳の尽力に感謝です。その日の午後、杉田劇場でオペラ「真昼の夜想曲」がありまして、オペラ「春香」の荒井間佐登先生の演出でこどもミュージカルの高庄りあさんが出演しました。300ほど客席ですが、2公演とも満席の盛況でした。何かほのぼのとしたオペラでこちらも歌に演技に活躍していました。

2019、1030 団長 松永 春

【写真・右】東京湾大感謝祭ステージ風景  
【写真・下の上】カルメン/出演者20名  
【写真・下】カルメン/マエストロ&酒井先生、中村先生、齋藤先生



今後のスケジュール

12/22(日)	中区合唱祭
横浜市開港記念会館	午後1時~
横浜☆男声合唱団	出演
12/24(火)	25(水)
クリスマス	キャロル
5時、7時	
インターコンチネンタルホテル	
1Fグランドロビー	見学自由
赤い靴ジュニアコーラス	出演
12/31(大晦日)	令和2年元旦
よこはまメルヘン	山下公園
「童謡を歌い継ごう」	赤い靴像前
大晦日22:45~元旦	0:15
参加中	
2020年2/16日(日)	横浜市民
ミュージカル「横浜どんたく物語」	詳細後日
関内大ホール	